

学習指導要領		言語活動を充実する目的	①思考力・判断力・表現力を育成する。 ・重要な知識や概念などを思考等において利用 できるような形にする。 ・複雑な思考等の道筋を簡潔に表現したり、表 現されたものを読み取ることで、思考・判断・表 現などの道筋を身に付ける。	②教科特有の言語活動の基 盤を形成する。		③他者、社会、自然・環 境とのかかわりの中で、 これらと共に生きる自分 への自信を持たせる。
		活動例				
生物 の 育 成	C(2)ア	対象となる生物の栽培・ 飼育計画の立案	・目的を意識した実習を行うにあたっての考えの 整理・課題の明確化を図る。 ・対象生物の成長の変化を観察等からとらえ、 適切な対応を工夫する。			
情報に 関する 技術	D(1)ア	情報一般に関して ○討議 ○体験内容に対する意見 交換 ○掲示板活動 など		情報に 関 する 科 学 的 な 理 解 (言 語 活 動 の 基 盤 形 成) を 図 る。	デジタル化	
	D(1)ウ				・著作権 ・発信者としての 責任 ・ネットワークの ルール、マナー ・知的財産の保 護	
	D(2)アイ				・メディアの素材 の特徴とその複 合方法 ・個人情報への 配慮	
	D(2)アイ	制作する作品についての 画面イメージ 制作工程表	・アイデアを生み出し、自分の考えを整理する。 ・準備、手順の整理による能率化を図る。			
	D(2)アイ	作品の相互評価				制作した作品の表現や 発表を行うことによって、 互いの作品の良さや自 己の作品の改善点等 を見だし、より高次の 目標や課題への見通し をつくる。 相互評価を通して自分 に自信をもつ。
	D(3)イ	フローチャートの作成		情報処理手順についての考 えを整理し、課題を明確に することによって、思考の 流れを整理しよりよい考 えを生み出す。		